

学校関係者評価報告書

(令和 6 年度)

富山市立富山外国語専門学校

令和7年3月

富山外国語専門学校 学校関係者評価委員会は、令和6年度自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、その結果を報告いたします。

1 令和6年度 富山外国語専門学校 学校関係者評価委員会

日時 令和7年3月5日（水） 15時

場所 富山外国語専門学校

出席者 学校関係者評価委員 4名

大久保 秀俊	市民学習センター所長
川端 國昭	元本校校長
清水 義彦	富山県立大学准教授、元本校講師
倉田 恭平	本校卒業生

事務局 4名

南島 啓	富山外国語専門学校 校長
前坪 勝児	富山外国語専門学校 事務長
白野 妙子	富山外国語専門学校 准教授
山内 修吾	富山外国語専門学校 主事

2 基準ごとの学校関係者評価、意見

基準	点検項目	委員の評価、意見等
1 教育理念・目的・育成人材像等	【1-1】理念・目的・育成人材像は定められているか	○適切に定められ、進められている。 ○本校は豊富な外国人講師が在籍しており、ネイティブな英語に触れることができる。これは、他の専門学校や大学では難しい。そして、その力は就職後においても即戦力となりうる。この長所を今後も生かしてほしい。 ○英検取得やTOEICのスコア向上を積極的に進めており、それが英語力の向上につながるとともに、就職活動にも有利となる。
	【1-2】学校の特色はなにか	
	【1-3】学校の将来構想を抱いているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
2 学校運営	【2-1】運営方針に沿った事業計画は定められているか	○適切に進められている。 ○以前の委員会と比較して、明るい話題が増えている。 ○もし、自分の子どもを入学させるなら、どういう学校なら行かせたいか考えると、時代が変わっていく中で、どう対応できるかが重要だと思うが、本校はとても良い取組をしていると思う。 ○夏期講習の夜の部があるとよいという意見がある。
	【2-2】運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
3 教育活動	【3-1】各学科の教育目標、育成人材等は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	○適切である。 ○日々進化しているテクノロジー（chatGPTやGrokなど）への対応を期待する。
	【3-2】授業評価の実施・評価体制はあるか	
	【3-3】成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
4 教育効果	【4-1】就職率の向上が図られているか 【4-2】資格取得率の向上が図られているか ----- 【4-3】退学率の低減が図られているか ----- 【4-4】卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	○適切に進められている。 ○就職内定率 100%を達成目標としており、それに近い結果を出しているのは良い。 ○かつてのキャリアデイが形を変え、社会経験を少し積んだ卒業生からオンラインで在校生にアドバイスしてもらうのは大変良い。 ○対面授業が売りの本校には、コロナ禍は未曾有の逆風であったが乗り切れた。教職員全体で学生を支援する工夫や努力があったからこそだと、敬意を表する。 ○Facebook が定期的に投稿され、学校の今をタイムリーに伝えていること、これは外への重要な発言であるのみならず、在学生にも振り返る機会を与え、意義が大きいと思う。 ○学生のニーズに合った企業を本校に呼んでの説明会は魅力的である。このような企画が就職内定率の向上に寄与している。 ○富山大学や金沢大学等の近隣大学も含めた説明会等があればよい。 ○ここ数年、小中高の不登校が深刻である。本校においても少なからずその影響がみられるようだ。個に応じた対応には限界はあるだろうが、時間の許される範囲で、個別面談等を充実させてほしい。 ○TOEIC 別室受験等について感心した。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
5 学生支援	【5-1】就職・進学指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか ----- 【5-2】学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか ----- 【5-3】学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか ----- 【5-4】保護者と適切に連携しているか ----- 【5-5】卒業生への支援体制はあるか ----- 【5-6】留学支援や海外との連携による国際教育交流の体制があるか	○適切に進められている。 ○卒業生への支援は確かに大事ではあるが、やはり優先すべきは現役学生である。再就職や転職等の相談は必要最低限でいいのではないかと。 ○デューク大学は超一流の学校なので、交流は大切である。細い糸でもいいので、継続的に実施してほしい。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
6 教育環境	【6-1】施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	○適切に整備されている。 ○以前は教職員のみを対象にした避難訓練と、学生と専修コース受講者を対象にした「シェイクアウト」を行っていた。能登半島地震を契機に防災・減災の意識が高まっているが、学校単独・市民プラザ全体を問わず防災訓練は適宜行われているのは良い。 ○「追悼の集い」の後、海外研修旅行団 18 名が出発したと聞いて驚いた。3 週間の現地ホームステイの経験は何にも代えがたい貴重な体験なので、再開したことは本校にとって大きな追い風である。
	【6-2】学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
7 学生の募集と受け入れ	【7-1】学生募集活動は、適正に行われているか	○適切に進められている。 ○内部資料によると、県内はもとより、県外からも多くの学生が学んでいることが理解できた。ここ数年、県立高校の人気は下火である。特色ある県内の私立高校を対象とした学校説明を継続拡大してほしい。 ○高校の統廃合が少子化のスピードに追い付いていないという印象を、高校入試の倍率を見て思った。ある意味、本校を希望してくれる学生がこれだけいる事は有り難いことだと思う。 ○提供している教育は間違いない。外部にこれをしっかり発言して、本校を必要とする人々に届いて欲しい。
	【7-2】学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	
	【7-3】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
8 法令等の遵守	【8-1】法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	○適切に行われている。
	【8-2】自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
9 社会貢献	【9-1】学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	○適切に行われている。 ○聴講生制度が夏休み前の 3 か月余りにわたって試験導入され、好評であったことは明るいニュースである。大学ではかねてから実施しており、社会に広く学校を開放し、素晴らしい人的資源を活用する意味で大賛成である。本校の活性化に一役買うことも期待する。 ○本年度、夏期講座に参加したが、とても良い経験になった。参加してみないと、良さが分からないという点については、広報の方法をもっと工夫できればと思う。
	【9-2】学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	